

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15057

子ども子育て応援事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
取組方針	4	結婚から子育てにつなげる社会づくり

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市子ども・子育て支援事業計画		
事業年度	無し ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	子育て支援課	増田 博	435-1329
事業実施の根拠法令	子ども・子育て支援法	関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	結婚、出産、子育て期までの切れ目のない支援として、様々な事業を総合的に実施し、子育て環境の充実を目指す。		結婚、出産、子育て期までの切れ目のない支援として、結婚応援事業をはじめ、子育てに関する情報提供や相談業務のほか、ワーク・ライフ・バランスの推進に関する事業まで総合的に実施し、子育て環境の充実を図る。			
事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	・つれもて子育て応援ブック LINEの運用・しあわせたく3 ・3世代同居近居推進・育児支援事業・男性の育児参加推進・ハッピーウェディング事業・オリジナル婚姻届等	・つれもて子育て応援ブック SNSの運用・しあわせたく3 ・3世代同居近居推進・育児支援事業・男性の育児参加推進・ハッピーウェディング事業・オリジナル婚姻届等	・つれもて子育て応援ブック SNSの運用・しあわせたく3 ・3世代同居近居推進・育児支援事業・男性の育児参加推進・ハッピーウェディング事業・オリジナル婚姻届等	・つれもて子育て応援ブック SNSの運用・しあわせたく3 ・3世代同居近居推進・育児支援事業・男性の育児参加推進・ハッピーウェディング事業・オリジナル婚姻届等		

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	15,502	21,078	17,985	17,160	17,985	39,336	55,522	0	0	0
伸び率(%)	△4.7%	36.1%	16%	△18.6%	0%	129.2%	208.7%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	28,158	26,917	25,535	25,535	25,771	24,279	27,264	0	27,264
	正規職員以外	2,249	1,439	1,407	2,234	1,400	1,768	971	0	971
	小計	30,407	28,356	26,942	27,769	27,171	26,047	28,235	0	28,235
国庫支出金	3,075	10,730	5,979	8,159	5,979	19,668	32,381	0	0	0
県支出金	450	341	450	374	450	450	450	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4,070	3,580	3,795	0	3,795	3,428	2,688	0	0	0
一般財源(税等)	7,907	6,427	7,761	8,627	7,761	15,790	20,003	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	3.63	3.47	3.28	3.28	3.28	3.09	3.47	0.00	3.47
	正規職員以外	0.98	0.63	0.62	1.05	0.62	0.81	0.43	0.00	0.43
主な予算内訳	3世代同居近居 4,000千円 ハッピーウェディング 45,000千円 育児支援 900千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
作成数(子育て応援ブック)		冊	5000	5000	5000	5000	
			5,000	5000	5000		
			100%	100%	100%	%	%
事業実施数		事業	10	10	10	10	
			10	10	10		
			100%	100%	100%	%	%
(0~14歳の子供がいる方の) 子供や子育てに対する支援サービス満足度(非常に満足と満足を合わせた率)		%	40	40	40	40	
			25.4	25	25		
			63.5%	62.5%	62.5%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>子育ての情報提供の手段として、子育て応援ブック作成配付の継続と令和3年度から開始されたLINEを使った子育て支援情報の提供の充実が必要。</p> <p>子育て応援事業として、様々な事業を展開しており、平成28年度から新規事業4事業を開始し、継続中であり、認知度も高まって実績が上がっており、事業の継続が必要。</p> <p>男性子育て推進事業とし、イクボスの普及推進としての事業の継続と発展が必要。</p>
見直し・改善内容	<p>当事業は様々な事業を総合的に展開しているため、それぞれにおいて継続が必要である。継続していく中においても、それぞれの事業の充実、拡充等を含めて検討しながら事業を進めていく必要がある。</p>